

# G20財務大臣・中央銀行総裁会議(於トルコ・アンカラ)について

平成27年9月11日  
麻生議員提出資料

## 麻生財務大臣の発言

- 米国による金融政策正常化の影響や中国をはじめとしたアジア新興国等の経済の先行きを含め、動向を注視することが必要。
- 上海株式市場に端を発した金融市場の変動の背景にある中国の構造的課題として、中国当局は、①過剰設備の解消、②人口減少に対応した社会保障制度の構築、③金融セクターの不良債権処理等に引き続き取り組むことが重要。
- 我が国経済につき、本年6月に「骨太の方針」を閣議決定し、2020年度のPB黒字化目標の達成に向けた財政健全化計画を策定したことや、安倍内閣における成長戦略の成果及び新たな取組み（「日本再興戦略」改訂2015）を紹介。
- インフラ投資のセッションにおいて、「質の高いインフラ・パートナーシップ」のもと、JICAやJBICも活用して、日本としてアジアのインフラ需要に積極的に応えていく考えをアピール。

⇒ 声明において、世界経済について以下のような記述が盛り込まれた。

- ・ 最近の金融市場の変動とその根底にある経済状況を検討するために会合を開催した。
- ・ 経済回復を維持するため断固たる行動を取ることにコミットしており、世界経済の回復は加速すると確信。経済の信認と金融の安定を促進するために、引き続き動向を監視し、波及効果を評価し、必要に応じ新たなリスクに対処。
- ・ 負の波及効果を最小化し、不確実性を緩和し、透明性を向上させるために、特に金融政策その他の主要な政策決定を行うにあたり、各国の行動を注意深く測定し、明確にコミュニケーションを行う。